

社団法人



長崎青年協会

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION



文化財清掃 高島秋帆宅前にて

長崎青年協会憲章

我々は、会員の団結と相互扶助の精神の基に、自己の建設と会員の親睦を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

今月の行事

- 3日 文化財清掃
- ソフトボール大会
- 7日 理事会
- 15日 理事会
- 16日 卓球大会
- 21日 夫人同伴例会

ホテルニュー長崎
午後六時

講師

長崎大学助教授

宮崎正明氏

演題

「子どもの心が見えますか」—子ども心理を理解した子育て

NAGASAKI
YOUNG GENERATION
ASSOCIATION

MONTHLY **11** 1988 NOVEMBER
STYLE NO. 113

十月臨時総会

江村大洋会長挨拶



皆様こんばんは。十月も半ばを過ぎ、大変過ぎやすい季節となつてまいりました。特に今秋は、すばらしい天候に恵まれ、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋を満喫されていることと思います。

さて、十月二日マラソンを最後に終了しましたソウルオリンピックにて、日本選手団の健闘ぶりが今一つの中で、男子水泳の鈴木大地、シンク口の小谷美可子、男子体操大阪の二人の高校生、柔道無差別級の斉藤、これらの活躍は今でも鮮やかに蘇ります。さて、青年協会では、本年度六回目を迎えるはずでありましたおくんち事業が、皆様ご存じのように、天皇陛下のご病

日時 昭和63年10月21日
場所 ホテルニュー長崎

状を考慮しておくんちそのものが取りやめになったことと、中止せざるを得なくなりしました。大変残念な事でした。又、二十周年記念事業として計画しておりました十一月十五日記念ゴルフコンペ、十一月二日の記念式典につきましても、理事会にて慎重に検討した結果、来年の二月以降に、延期する事を決定致しました。ご報告致しておきます。

本年の私達の事業計画が、このような形で大きく修正せざるを得なくなり残念ではあります。この機会をとらえ内部充実に目を向けたいと考えています。先日の理事会にて会員の会費納入状況と事業への参加率を検討し、退会勧告を含めた処分を決め現在その作業に入っています。今後とも、組織運営に皆様のご協力をお願い致します。

本日は、臨時総会でございます。皆様には、補正予算案承認の件、次年度会長選挙について審議をお願い致しますが、慎重審議のうえ総意をもって決定して載せたいと思います。

昭和六十三年 臨時総会報告

総会成立宣言

出席71名 委任状16名
総数87名 総会成立

一、議長 松本 直行君

一、議事録作成人 大塚 一広君

一、議事録署名人 椋尾 敏郎君 田川 俊幸君

議事

第一号議案

昭和六十三年度

補正予算案承認の件

第二号議案

次年度会長選出の件

第一号議案につきましては、財務委員長の新井正実君より説明がなされ、総会全員の一致を以て承認議決されました。

第二号議案につきましては、選挙管理委員長の浜本

勝馬君より経過説明がなされ、候補者野上林八郎君、推薦人の馬場正勝君よりそれぞれ挨拶がありました。投票説明のあと信任投票がなされ開票の結果満票をもちまして次年度会長が決定致しました。以上をもちまして臨時総会の議事を無事終了致しました。

委員会報告

【例会委員会】

十一月の二十周年記念式典は延期となり十一月二十一日の例会は奥様同伴で出席して下さい。

【財務委員会】

ジャックスの申し込み用紙の集りが悪いので紛失された方は事務局に用意してあります。御協力お願い致します。

【企画委員会】

十一月から来年の三月までの五ヶ月間市民会館を借りて家族と一緒にスポーツ交流を行いたいと思います。十一月の予定は卓球です。そろって御参加下さい。

よろこび

★野上林八郎君

次年度会長おめでとうございます。

★松本直行君・浜本勝馬君

臨時総会議長、選挙管理委員長お疲れ様でした。

★馬場正勝君・金田芳裕君

りっぱな演台の作製お疲れ様でした。そしてこの演台を寄贈して頂いた63年度卒業予定者の皆様ありがとうございました。

演台寄贈

昭和62年度卒業生と昭和63年度卒業予定の先輩方より、立派な演台と青年協会のネームプレートを卒業記念品として寄贈していただきました。会員一同心より御礼申し上げます。





抱負を語る野上君

昭和64年度会長 野上林八郎君 選出さる!

時：昭和63年10月21日(金)
所：ホテルニュー長崎

先に行なわれました、臨時総会で、次年度会長として、野上林八郎君が選出されました。

新会長抱負

私は、昭和五十五年、青年協会に入会致しまして早いもので、来年で十年になります。その間、青年協会という大きな組織の中で組織の勉強、又対外事業を通しての勉強、諸先輩方の考え方、指導の方法など、教えていただきました。それと、協会活動に於いての会員の団結力、他の団体に負けない行動力、制約にとられない自由な発想等、ほんとうに、創立当時の方々が作られた、すばらしい伝統が育つていると思います。

しかし、現在青年協会は、若い会員が続々と入会されておられ、特に六十年以降に入会された会員が、全体の半分をしめるようになり、会員の若がりが進んでおります。もちろん、次年度も、会員増強は考えておりますが、現会員に於いて、新人と旧会員との間の

連帯意識が、私を含めて少し欠除しているのではないかと思われますので、次年度は、内部の充実を計り、又組織的にも、二十周年を境に、将来の青年協会の姿を考えるものを、少し取り入れて行きたいと思っております。

それと、対外的には、継続事業の拡大、充実を考え、それと、六十四年「長崎市政百周年」、六十五年「長崎旅博覧会」と、県と市の大きな、イベントが続いておりますので、青年協会としても、何らかの形で、参加、提案をして行こうと思っております。私は六十四年度で卒業ですが、会員の皆様方と協力して、積極的に行動して、一歩でも二歩でも飛躍する、長崎青年協会を作って行こうと考えております。

どうか、会員皆様のご協力をよろしくお願い致しまして、私の抱負にかえさせていただきます。

功労表彰を受彰!

長崎市教育委員会表彰式

去る11月1日、長崎市上町のNBCビデオホールに於いて昭和63年度長崎市教育委員会表彰式が挙行され、我々青年協会が功労表彰を受けました。当日功労表彰を受けたのは長崎の文化、教育の発展に功勞した市内の個人11人と3団体で、その他20年にわたり児童生徒の健康保持に寄与された学校医、学校歯科医の方々に感謝状が贈られ、また永年にわたり職務に精勵された市内の教職員の方々に勤務表彰が贈られました。

諸先輩の礎による

江村大洋会長の感想
此の度、青年協会が功勞表彰を受けたのは、昭和47年以降、17年間連続して行なってきた11月3日の文化財清掃の実績が評価された結果だと思えます。いわば今回の受彰は、多年にわたり地道な活動を続けてこられた諸先輩方の礎によるものであり、今後も、さらにこの様な活動を継承していかなければならないと思えます。

我々青年協会に対しては、多年にわたり文化財の保護に尽力し長崎市の文化の向上に多大の貢献をしたとして、別當久子教育委員長職務代理者から江村大洋会長へ表彰状並びに記念品が贈られました。

表彰式後、江村大洋会長は、晴れ晴れとした表情で喜びの感想を次のように語りました。



表彰を受ける江村会長

20周年特別企画インタビュー 青年団体の情熱と相互協力で 長崎の活性化と発展を!!

長崎商工会議所青年部会長 田中直英氏に聞く

今回は、長崎商工会議所青年部会長として、商業、観光事業等、長崎の活性化と発展の為に御活躍されている、田中直英氏にお話を伺いました。

●長崎商工会議所青年部の組織と事業内容をお聞かせ下さい。

―全国的に商工会議所が青年部を創ろうということから、七年前に発足致しました。組織としては総務委員会と事業委員会に分かれ、商工業の振興・発展を目的として、経済開発・観光・建設等、業種別に組織づけられています。

実施した主な事業内容としては、設立年に起った長崎大水害の追跡・被害状況調査、官民一体となって行った、都市景観建築文化賞、昨年の売上げ税反対運動等を行なってきました。

今後の活動としては旅博が中心となってくるでしょう。●長崎「旅」博覧会における青年部の役割について、お聞かせ下さい。

―長崎商工会議所が、唯一の民間代表主催であるのですが、青年部だけではなく青年協会、J C 共一緒になつて皆さんで、市民、県民意識の高揚について努力していかなければいけないし、青年団体の役割も大きくなってくるでしょう。

●長崎商工会議所における青年部の役割についてお聞かせ下さい。

―「会議所に若い活力を」
ということと設立されたのですが、会議所への協力、活動のみならず、フットワ

ークの良さと、青年部の独自性を生かした事業や活動も多く行なっています。

●青年部が、我々青年協会や他青年団体に対して、今後求めていることをお聞かせ下さい。

―一つは、各青年団体が、独自性をフルに活用して、良いと思つたことは、どんな推進すべきだと思いません。それと、あるときは、柔軟性を持つて、青年部、J C、青年協会が、相互に協力しあい、活動してゆくことができれば良いと思

ます。それがひいては、長崎の活性化と発展につながつて行くでしょう。

旅博について言えば、各青年団体が情報交換をしなから、連係プレーを取り、それぞれが、役割をきちつと守つて、事業を仕上げるような直接的な活動をしないと、3つの青年団体の存在意味もあまいになるので努力をして、旅博を成功させなければならぬでしょう。●青年協会に対しての、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

―商工会議所青年部やJ C みたいな全国的なマニュアルではなく、長崎のオリジナリティが生かされるといふことには敬意を表していますし、良い意味での、野性味、人間らしさということが、青年協会としてのキャラクターになつて欲しいと思います。

これからも、すばらしい独自性を伸ばして、長崎に必要な青年団体として大いに活躍して下さい。



熱っぽく語られる田中会長

プロフィール

長崎西高から明治学院大学、吉忠を至て45年(株)タナカヤ入社。29代 J C 理事長を務められ現在に至る。
(株)タナカヤ常務取締役。

文化財清掃

高島秋帆宅庭で実施

11月3日文化の日、青年協会恒例事業の文化財清掃が行なわれた。

今年も、過去4回程清掃を行なったことのある、国指定史跡、高島秋帆宅庭の清掃である。

午前8時30分、どんよりと曇った空の下、雨を心配しながらも、ジャージやジーパン姿で続々と会員が現地に集合。総勢約50名、長崎市の職員の方々や、地元自治会長も参加され、それ



はりきって清掃に励む会員

それぞれ、用意されたカメラやほうきを持ち、夏の間には生い茂った雑草を刈り始める。今年も、自動草刈り機2台と火煙放射機を用い、人力プラス機械化で、清掃能力を高めた。なかでも、今年始めて用いた火煙放射機は集められた雑草を燃やすのに威力を発揮。約2時間の清掃作業を終え、燃えにくい雑草を、ゴミ袋に納める。10個、20個とゴミ袋の山が、みるみる

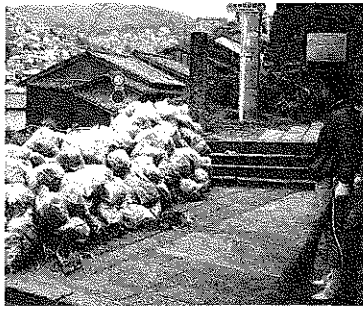


集められたゴミをトラックへ……

うちに出来上がる。あらためて、雑草の多さに会員一同もビックリ。

最後に、市の職員の方から、高島秋帆についての話しをお伺いし、午後より始まるソフトボール大会会場へと、それぞれ向った。

青年協会の文化財清掃も昭和47年より始まり、今年で17回目を迎えた。前項でご報告したように、長年の文化財清掃活動が認められ長崎市教育委員会より表彰を受け、OBの意志を受け継ぎ清掃活動を行なってきたよかつた。又、来年からも清掃活動が続けていきたいと、会員一同意欲を燃やしていた。



集められたゴミ袋の山々

青年協会ソフトボール大会

文化財清掃に続き、やはり11月3日文化の日恒例行事の青年協会ソフトボール大会が、午後1時より立山グラウンドで行なわれた。

今年も、担当委員会の企画により、入場行進より始まる。それぞれのチームが優勝の2文字を胸にいだきながらの入場。開会宣言、会長挨拶、OB代表挨拶の後、ドリンカーズ監督の金子寿英君による、監督、選手を代表してのみごとな選手宣誓。平野OB代表の始



選手宣誓の金子寿英君

球式により、A・B各パパートに分かれて、いよいよ試合開始。昨年優勝のOBチームには絶対に負けられないと、現会員チームもハツスルするが、協会おなじみの珍プレー続出。

決勝戦は、AパートからやはりOBチームが進出。Bパートを勝ち抜いたウミノクリニングスとの間で行なわれた。一点を争う好ゲーム、白

閉会式で、優勝した中尾OB監督と準優勝の海野監督に賞状が手渡されソフトボール大会も無事終了した。寒風の吹く中、参加されました多数のOB諸兄に対し、会員一同心より優勝のお祝い、お礼申し上げます。

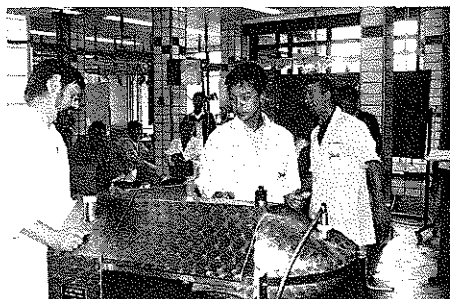
トピックス

西ドイツ研修旅行記

広報委員会 田川 俊幸

9月30日より10日間、研修は西ドイツの田舎町オルデンブルグで行なわれました。本場の地でのハム・ソーゼーの研修はマイスターの一挙手一投足も見逃せない大変中身の濃いものでした。その細部までは、ここでは省略し途中立ち寄った街々の印象を報告します。

ブレームンの街ではメルヘンの世界を、ローデンブルグでは中世の面影を、そしてフランクフルトはゲーテ



研修に励む筆者

の育った街を散策でき、夜はドイツ料理に舌鼓を打ち、おいしいビールやワインでドイツ人と交流もできました。私の長年の夢でもあった今回の西ドイツ研修は、瞬間に終わり今はただ、頑なに受け継がれているドイツの伝統の味を自分なりにどう取り入れるか、試行錯誤の毎日です。

ひとロメモ

食 IV

そろそろ今年も後わずか。今回は奥様方の為におせち料理の参考にといい、それに向けた料理を二つ程紹介したいと思います。

焼排骨(スペアリブの焼物) スペアリブは、肉側の部分に包丁で5mm深さの切り込みをいれ、塩、砂糖、酒、醤油、五香粉(新地食材店有)少々で甘からく味をつけそれにスペアリブを浸け

釣・同好会

広報委員会の集りにて、釣りバカ3人が揃うと、「朝晩だいぶ肌寒くなってきたよっけん、新聞の釣りコーナーにクロの釣れよつてのつとるばい、この頃釣りに行ってみたね。すると、なんやかんや合って行ってなかとですよ。」こうなると好きもの同志だけに、一緒に釣りに行こうと話がまとまるのに、いつ、何処に、となると潮がどうの、あそこはちよつ

一昼夜。それをとりだしてオーブンで約二十分焼く。叉焼(焼ブタ)

肉は豚ロースを使い、それも脂の少ない物がいいでしよう。それを肉屋さんで幅約3cmの厚さに細長く固まりで切ってもらい(本数は家庭の事情に合わせて)、前述の焼排骨と同じ浸汁につけこれも一昼夜。それからとりだしオーブンに並べて約40分焼く。焼上りからあら熱をとり水飴をかけて出来上り。

新入会員紹介

と、それに仕掛けが等々、こんどは、話がまとまらなくなってしまう。釣り人は講釈が多いです。結局親睦が第一というふうになり、どうせ釣果は期待されてないから、安全で楽しく一日を遊ぶ、青年協会磯釣り会にしようということになり、11月23日勤労感謝の日に決定しました。釣り同好会員の参加を待っており、参加問い合せについては、岩満君までお願い致します。「釣りは男の浪漫!」

10月懇親会報告

10月21日「芭紗羅」にて行なわれました。桃山レポート感覚で料理と生演奏を味わいながらお酒を飲めるレストランバー。

籠町9-2-4 ライオンコート5F 電話22-1286

新ヶ江 憲和君 S32・2・8生 31才 勤務先 (有) 銀鍋 銅座町7-1-1 電話21-8213

住 所 鳴滝町1-17-1 19 電話23-7515 所属委員会 会員開発

松島 孝之君 S31・3・11生 32才 勤務先 前田株式会社 田中町1264 電話37-8288

住 所 西彼杵郡長与町高田郷2340-1 電話57-8474 所属委員会 企画

佐々木 隆夫君 S28・7・10生 35才 勤務先 風屋

